

棧敷ヶ岳周回

報告：ka

山 名： 棧敷ヶ岳 895.8m
日 程： 2025 年 5 月 4 日(日)
参 加 者： 5 名 (Ku,Na,Ho,Fu)
歩行距離： 12.7km 歩行時間：約5時間 20 分 上り 847m 下り 840m
行 程： 岩谷橋(9:40、9:45)～林道西谷線～岩茸山(11:10)
～棧敷ヶ岳(12:05-12:41)～ナベクロ峠(13:00)～祖父谷峠(13:15)
～棧敷が岳取付き(14:03)～岩谷橋(15:00)

五月晴れの申し分ないお天気。積雪期にだけ利用するもくもく号は近年空いているので 10 分前に着いてみると、30 人ほどが列をなしていたのに驚く。バスのように詰めて乗車できないので応援タクシーを待たねばならず、この季節は集合早めを肝に銘じる。5 台目のタクシーで到着したリーダーにより 20 分遅れとなり申し訳ないことと反省する。Fu さんのお友だちが個人山行としていらしたので一緒にスタートする。



ほどなく岩谷川沿いに毛のびっしり生えたワラビ(!?)を見つけてはしゃぐ約2名(誰でしょう)。志妙院はシャクナゲの時期で大混雑が予想される、との意見をいただき林道西谷線から入ることにする。衣服調整で小休止の際、下ろしたリュックにヒルが！すぐに虫よけスプレーを、と喚起する。幸い被害者はゼロだった。薬師峠からの道との合流地点を東へ進む。岩茸山登り口の標識は小さい。後ろから「左！」と声をかけていただいてやり過ごさずに済む。このコース一番の急登かも知れないが短く、巻き道よりも歩きやすい。

ヤマツツジ、コミツバツツジ、ウワミズザクラ、ガマズミに出逢う。馬酔木が多く、日当たりがよいところは満開だ。明るい、と思ったら開けたところから比良山系が見えた。冬なら「都ながめ岩」がよいのだが、この季節は葉が生い茂り眺望ゼロだった。そこからすぐの送電線鉄塔に出ると、東だけでなく西の丹波方面の山も望めた。いったん下りてひと登り、棧敷が岳登頂。



おヒルを済ませ、ここから参加者全員が初めての道。リョウブなどの新緑が鮮やかで、そよ風に揺れて木漏れ日が眩しいコースが続いたが、ナベクロ峠は眺望なし。すぐ先の分岐で2本の送電線のうち手前の線の真下を北東に下り、突き当たりの分岐が祖父谷峠だ(左は飯森山、大森方面)。オオカメノキが蕾をつけてい、「鴨川の源流」ではそこここにクリンソウが咲き始めていた。日当たりのよい水辺では満開の一群が見られた。長い林道も前半は砂利道だったのが救いだった。道なりにミヤマハコベ、マムシソウ、アケビの花、キケマンなど。



祖父谷峠



クリンソウ



鴨川の源流

後半に「雲ヶ畑ベニバナヤマシャクヤク生育地保全地区」の看板とゲートを見かける。こちらを通らせてもらおうとヤマシャクを拝めて栈敷が岳山頂へも早くラクに行けるらしい。

岩谷橋には全員が健脚のおかげでバスの時間よりなんと、10分も早く到着できました。皆さまが参加してくださったことで積雪期以外の栈敷が岳もこんなにも魅力的だと知ることができました。ご一緒できてよかった、とても楽しかったです。ありがとうございました。



何の花?



ヤマルリソウ